別紙1

仕様書(中央手術センター・HCU・ICU生体情報モニタリングシステム一式)

【機器構成内訳】

<u>【</u> 饭品售以内式】
品名·数量
中央手術センター・HCU・ICU生体情報モニタリングシステム 1式
(構成内容)
(1) 中央手術センター 生体情報モニタリングシステム 1式
1. ベッドサイドモニタ 12式
2. セントラルモニタシステム 1式
3. 波形ファイリングシステム 1式
(2) HCU 生体情報モニタリングシステム 1式
1. ベッドサイドモニタ 21式
2. セントラルモニタ 4式
3. セントラルモニタシステム 1式
4. 波形ファイリングシステム 1式
(3) ICU 生体情報モニタリングシステム 1式
1. ベッドサイドモニタ 13式
2. セントラルモニタ 2式
3. セントラルモニタシステム 1式
4. 波形ファイリングシステム 1式
(4) 上記設置に係る付属品 1式
(5) 電子カルテシステム接続費 1式

調達物品に備えるべき技術的要件

(性能、機能に	関する要件)	
(1)中央手術センター生体情報モニタリングシステムー式については以下の要件を満たすこと。		
1	ベッドサイドモニタ	
1-1	ベッドサイドモニタ本体(以下「モニタ本体」という)は、以下の要件を満たすこと。	
1-1-1	患者の生体情報を監視する有線式モニタであること。	
1-1-2	モニタ本体、表示部が一体型構造であること。	
1-1-3	メインディスプレイは19型以上のタッチ式カラー液晶ディスプレイであること。	
1-1-4	各パラメーターはモジュール形式で測定可能なこと。	
1-1-5	心電図、呼吸、SpO2、非観血血圧、観血血圧、体温の基本パラメータは、一つの集合モジュールで測定	
	可能なこと。	
1-1-6	パラメータケーブルの抜き差しで計測および表示パラメータが柔軟に変更できること。	
1-1-7	防水・防塵規格においては、集合モジュール本体はIP44、パラメータケーブルはIP47の規格を満たしていること。	
1-1-8	集合モジュールで心電図、呼吸、非観血血圧、SpO2、体温2ch、観血血圧4chを同時計測可能なこと。	
1-1-9	集合モジュールと心電圏、呼吸、非観血血圧、SPO2、体温とい、観血血圧4CHを同時計別可能なこと。 集合モジュールは、7インチ以上のディスプレイを搭載していること。	
1-1-10		
	集合モジュールの液晶は、外部からの衝撃に強い化学強化ガラスのドラゴントレイルを採用していること。	
1-1-11	集合モジュールのアナログアウト機能は、追加ユニット無しの一体型の構造であること。	
1-1-12	集合モジュールは、様々な運用を想定し画面表示は180度ローテーション可能な機能を有すること。	
1-1-13	トレンドデータ、リストデータ、不整脈リコール等の各データは、集合モジュールに保存されており、移動の	
	際も集合モジュールを移動することによりデータも移動する機能を有していること。	
1-1-14	トレンドデータ、リストデータ等の各データは、集合モジュールに1分間隔で24時間分保存可能なこと。	
1-1-15	患者ID、患者名、年齢が集合モジュールに保存可能なこと。	
1-1-16	観血血圧のゼロバランスが集合モジュールで操作可能なこと。	
1-1-17	データは、全く途切れが無く連続的データとして受け渡しする機能を有すること。	
1-1-18	集合モジュールにはバッテリが搭載されており、集合モジュール単体で5時間以上連続動作可能なこと。	
1-1-19	集合モジュールにIABPなどへの心電図と血圧波形を出力する機能を有すること。	
1-1-20	麻酔ガス、CO2、O2、N2Oが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。 ガス交換(VO2、VCO2)、エネルギー消費量(EE)、呼吸商(RQ)が測定可能なモジュールを搭載可能なこ	
1-1-21	ガス交換(VO2、VOO2)、エネルキー消貨量(EE)、呼吸筒(RQ)が測定可能なモジュールを搭載可能なこ と。	
1-1-22	フロー、プレッシャー、ボリューム、TV、MV、PEEPが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。	
1-1-23	BISが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。	
1-1-24	筋弛緩が測定可能なモジュールを搭載可能なこと。	
1-1-25	局所酸素飽和度rSO2が測定可能なINVOS7100仕様のモジュールを搭載可能なこと。	
1-1-26	INVOSモジュールは、最大4chを測定できる仕様であること。	
1-1-27	外部機器とインターフェースデバイスを介して、ベッドサイドモニタでデータの一元管理が可能なこと。	
1-1-28	外部機器インターフェースデバイスは、1台で同時に最大8台接続し、データの取り込みが可能なこと。	
1-1-29	アラーム状態を確認しやすいように、本体上部にアラームライトを標準装備していること。	
1-1-30	医療現場の環境を考慮し、モニタ本体にファンがないこと。	

1-1-31	液晶画面は反射を抑えた映り込みのない構造であること。
1-1-32	自動麻酔記録装置(Prescient OR)より時刻情報を取得し、生体情報モニタへ時刻同期が可能なこと
1-1-33	心臓外科手術で使用する既存人工心肺支援システムヘデータ連携を行うこと
1-2	画面表示に関して、以下の要件を満たすこと。
1-2-1	日本語表示であること。
1-2-2	測定項目の多様化に対応して最大8波形の同時表示、心電図12誘導測定時は12波形を同時表示可能
' ' ' '	
1 0 0	なこと。
1-2-3	測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示
	する機能を有すること。
1-2-4	波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。
1-2-5	波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有してい
	ること。
1-2-6	測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。
1-2-7	他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。
1-2-8	メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。
· <u>-</u> -	
1-3	 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。
	別た!――ゲの伝送に関して、以下の女子を胸にすこと。 別中で、女子を始されて、内の娘によりしょしましょと、アメコやなこと
1-3-1	測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。
1-3-2	ネットワーク回線はイーサーネットであること。
1-3-3	他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以
	上、6パラメータ以上同時表示できること。
1-3-4	他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。
1-3-5	同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。
1-3-6	同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発
1	生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。
1-3-7	1-3-6の機能で、表示させるベッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。
1-3-8	
1-3-9	ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。
1-4	測定項目に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-1	心電図測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-1-1	心電図は3電極法、5電極及び10電極法により測定可能なこと。
	心拍数は20~300回/分の範囲で計測可能なこと。
1-4-1-3	医療現場の環境を考慮し、心電図フィルターを4種類選択可能なこと。
	19種類以上の不整脈解析が可能なこと。
1-4-1-5	
1 1 4 - 1 - 3	
1 1 1 0	解析していること。
1-4-1-6	信頼性の高い不整脈検出を行うため、年齢入力により4段階以上に区別された年齢別アルゴリズムで不
	整脈解析が行われること。
	QT、QTcの計測が可能であること。
	Afib(心房細動)の検出が可能であること。
1-4-1-9	一画面に標準12誘導心電図を表示可能なこと。
	標準12誘導心電図の心電図解析機能が装備されていること。
1-4-1-11	標準12誘導心電図の解析結果を15件以上モニタ本体に保存可能なこと。
	標準12誘導心電図の定時心電図解析機能を有すること。設定時間は5分、15分、30分、60分、90分、
' - ' ' ' ' '	2時間、4時間、8時間、12時間の時間間隔から選択可能なこと。
1-1-1-12	STアラーム発生時における自動標準12誘導心電図解析機能を有していること。
1 4 1 1 4	ロー/ ルガエ河にの1/9日刻原子 40 所の守い电区所列版配で行していること。
1-4-1-14	ST計測ポイントを20、40、60、80(ms)から選択可能なこと。
1-4-1-15	他の計測波形と共に3つのSTトレンドと3つのSTテンプレート波形を同時表示する機能を有すること。ST
	テンプレート波形表示は基準波形と現在の波形を重ね合わせて表示する機能を有すること。
	正確なSTを計測するために、心電図のLow Cut Filterは0. 05Hzであること。
	ペースメーカーモード機能を有していること。
1-4-1-18	ペースメーカーモードとして、「非表示」「表示(ペース1)」と「高感度(ペース2)」を選択できること。
	心電図電極から信号の質が低下した時、リード不良のメッセージが表示されること。
1-4-1-20	心電図電極外れなどにより心拍数が測定できない場合に、自動的に観血血圧又はSpO2の脈拍数に切り
' - ' 20	替え表示する機能を有すること。
1_1_1_1_01	<u>19んな小りの低能で行りのこと。</u> 5電極以上使用時に、電極外れなどにより心電図波形が表示できない時、自動的に表示可能な別の誘導
'-4-1-21	
	に切り替る機能を有していること。
<u> </u>	
1-4-2	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。
	呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。
	呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。
	呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。
	呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。
	呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。
1 4 2 2	呼吸の検出誘導は、I またはⅡ誘導に切り替え可能なこと。
1 1-4-2-8	5電極使用時はⅠまたはⅡ誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。

1-4-2-9	呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。
1-4-3	観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。
1-4-3-2	観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。
	観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。
	観血血圧のゼロバランスはワンタッチで同時に実行可能なこと。
1-4-3-6	大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバラ
	ンスを実行可能であること。
1-4-3-7	患者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。
	IABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有すること。
	動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニックングする機能を有すること。 動脈のアーチファクト除去プログラムを有し、トランスデューサのゼロ校正、システムのフラッシュ、採血時などによって発生する不要なアラームを除去し、メッセージのみを表示する機能を有していること。
1-4-3-11	観血血圧測定開始までの間、不要なアラームを鳴らさない為、血圧スタンバイ機能を有していること。
	脳機能モニタと接続し頭蓋内圧(ICP)の表示が可能なこと。
1-4-3-13	動脈圧(ART)と頭蓋内圧(ICP)が同時に測定されている時、脳灌流圧(CPP)を自動計算し表示可能なこ
	ے
1-4-4	 非観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	非観血血圧はオシロメトリック法により測定可能なこと。
	計測アルゴリズムはダイナマップアルゴリズムを採用していること。
1-4-4-3	高度な計測精度を実現するためにステップ減圧方式及びダブルチューブを採用していること。
	連続測定モードでは、測定時間短縮のため前回の測定状況より4段階の減圧ステップで測定するSuper Stat機能を搭載していること。
1-4-4-5	成人、小児、新生児の非観血血圧を測定可能なこと。
1-4-4-6	非観血血圧計測範囲は以下の範囲で測定可能なこと。 成人: 15~300mmHg、小児: 15~260mmHg、新生児: 15~155mmHg
1-4-4-7	安全性を配慮し成人、小児、新生児に応じて初期過加圧値の制限値が設定可能なこと。
	XIII CHOMBONAN 1984 AN III CHO C 1997 MARIE POR AN INC. 118 0 CO
1-4-5	SpO2測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-5-1	SpO2 計測範囲は1~100%の範囲で測定可能なこと。
1-4-5-2	SpO2測定方式は2波長光透過式であること。
1-4-6	体温測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	体温はサーミスタ法により体表面及び直腸温等の測定が可能なこと。
	体温は2ch測定可能なこと。
	体温は、0~45℃の範囲で測定可能なこと。
	2ch以上測定しているときは差温を表示可能なこと。
1-4-6-5	センサーは400シリーズが使用可能なこと。
1-4-7	ETCO2測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	既存麻酔器で計測されたETCO2を取得し、表示可能なこと。
1-4-8	麻酔ガス測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-8-1	<u>既存麻酔器で計測された麻酔ガスパラメータを取得し、表示可能なこと。</u>
1-4-9	 呼吸機能(スパイロメトリー)測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	既存麻酔器で計測された呼吸機能パラメータを取得し、表示可能なこと。
1-4-12	BIS測定(脳波スペクトル分析)に関して、以下の要件を満たすこと。
1 1 10 0	BIS(バイスペクトラルインデックス)、EEG(脳波)の測定が可能なこと。
1-4-12-2	サプレッション率(SR)、筋電図インデックス、入力信号クオリティーインデックス(SQI)表示が可能なこと。 上記測定項目は、脳波によるバイスペクトラルインデックス(BIS)のアルゴリズムを用いて算出されている こと。
1-1-10-1	にと。 EEG波形表示スケール 25ー500μ√、EEG波形掃引速度12. 5、25、50mm/秒、BIS測定範囲0−10
1 4 12-4	O、SQI測定範囲O-100%、SR測定範囲O-100%の範囲で測定可能なこと。
1-4-13	筋弛緩測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-13-1	筋弛緩の測定が可能なこと。
	1-4-13-1の測定はラックに抜き差し可能なモジュール方式であること。
	測定可能なセンサーは、メカノセンサーとエレクトロセンサーの両タイプが使用可能なこと。
	TOF%、DBS%、Count、T1%、PTCの表示が可能なこと。
	刺激モードは、TOF、DBS、ST、PTCが可能であること。
1-4-13-6	測定間隔は以下の設定が可能なこと。 (TOF/DBS:手動、10、12、15、20秒、1、5、15分、ST:1、10、20秒、ブロックモード:1、2、3秒)
1-4-13-7	リカバリーノート機能を有していること。

1-4-14	局所酸素飽和度rSO2が測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-14-1	rSO2の測定が可能なこと。
1-4-14-2	測定アルゴリズムは、INVOS7100テクノロジー方法であること。
1 5	 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。
1-5 1-5-1	お付け一分に関して、以下の安什を個だりこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。
1-5-2	数値トレンドは、1、5、15, 30, 60分間隔切り替えで表示可能なこと。
	数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やす
1-5-3	く表示可能なこと。
1-5-4	グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。
1-5-5	トレンドグラフ、数値表をレーザープリンタに出力可能なこと。
1-5-6	リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。
1-5-7	不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。
1-5-8	不整脈、スナップショットで保存される波形は1件あたり2波形以上保存可能なこと。
1-5-9	STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。
1-5-10	1分間隔で24時間の患者データは計測部(集合モジュール)にも保存可能なこと。 最新の36件以上の不整脈リコール波形及び10件のSTリコールは計測部(集合モジュール)に保存可能
1-5-11	取制の30件以上の小笠脈リコール波形及の10件の31リコールは計測部(集音モジュール)に体件可能 なこと。
-	/ / よーC。
1-6	アラーム機能関して、以下の要件を満たすこと。
1-6-1	計測値、不整脈等の警報設定が可能なこと。
1-6-2	警報音は優先度により4種類以上設定可能なこと。
	患者アラーム以外に、機械的あるいは電気的なトラブルに対応できるようにシステムアラームを装備してい
1-6-3	ること。
1-6-4	現在の計測値から自動的にアラーム値を設定する機能を有すること。
1-6-5	アラーム発生時、自動記録が可能なこと。
1-6-6	アラーム中断中でも優先度の高いアラームが発生した場合、中断を解除しアラームが鳴る機能を有してい
	ること。
1-6-7	アラーム状態が継続することで、自動的に優先度を上げる機能を有していること。
1-6-8	運用において、各パラメータアラーム表示及び音声アラーム条件を変更するアラームショートカットキーを
1 6 0	有すること。
1-6-9	アラームー時停止機能を有していること。
1-7	外部機器接続に関して、以下の要件を満たすこと。
1-7-1	外部機器を取込むインターフェースを接続可能なこと。
	外部機器を取込むインターフェースはスペース性、拡張性を考慮し、計測部に追加せず、別のユニットであ
1-7-2	ること。
1-7-3	1台の外部機器ユニットで5機種以上同時に接続可能なこと。
1-7-4	外部機器から取り込んだデータをモニタ上に、数値表示または波形表示し、トレンドグラフ、数値表へデー
1 / 4	タ表示が可能なこと。
2	セントラルモニタシステム(リアルタイムビュワー)
2-1 2-1-1	セントラルモニタシステムは、以下の要件を満たしていること 1台のディスプレイで同時に最大11人の患者の心電図及び計測値を表示可能なこと。
2-1-2	
2-1-3	モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。
	全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、
2-1-4	1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。
2-1-5	アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。
2-1-6	生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。
2-1-7	多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。
2-1-8	院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと
2-1-9	表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。
2-1-10	紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。
2-1-11 2-1-12	数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 プリントスクリーン機能があること。
2-1-12	パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。
2-1-13	自動ログアウト機能を設定可能であること。
	手術室内4箇所にセントラルモニタシステム用スレーブモニタを設置し、円滑な周術期ワークフローを提供
2-1-15	すること。
2-1-16	柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。
3	波形ファイリングシステム
3-1	波形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること
3-1-1	手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。
3-1-2	心電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。
3-1-3	収集されたバイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。

3-1-4	バイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有する
3 1 4	こと。
3-1-5	生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること
3-1-6	生体モニタでアラームが発生した場合、その際の波形情報にアラームイベントを取り込めること。アラーム
3-1-6	イベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。
	ベッドサイドモニタから実波形情報を取得できること。入室中の実波形保存期間は、最大1ヶ月間保存でき
3-1-7	ること。
	波形ファイリングシステムは、導入後のメンテナンス期間も考慮し、新品ハードウェアと最新ソフトウェア
3-1-8	
	バージョンで構築すること
(0)	
(2)HCU生体f	青報モニタリングシステムー式については以下の要件を満たすこと。
1	ベッドサイドモニタ
1-1	ベッドサイドモニタ本体(以下「モニタ本体」という)は、以下の要件を満たすこと。
1-1-1	患者の生体情報を監視する有線式モニタであること。
1-1-2	モニタ本体、表示部が一体型構造であること。
1-1-3	メインディスプレイは19型以上のタッチ式カラー液晶ディスプレイであること。
1-1-4	各パラメーターはモジュール形式で測定可能なこと。
1-1-5	心電図、呼吸、SpO2、非観血血圧、観血血圧、体温の基本パラメータは、一つの集合モジュールで測定
	可能なこと。
1 1 6	パラメータケーブルの抜き差しで計測および表示パラメータが柔軟に変更できること。
1-1-6	
1-1-7	防水・防塵規格においては、集合モジュール本体はIP44、パラメータケーブルはIP47の規格を満たして
<u> </u>	いること。
1-1-8	集合モジュールで心電図、呼吸、非観血血圧、SpO2、体温2ch、観血血圧4ch、CO2を同時計測可能な
	こと。
1-1-9	集合モジュールは、7インチ以上のディスプレイを搭載していること。
1-1-10	集合モジュールの液晶は、外部からの衝撃に強い化学強化ガラスのドラゴントレイルを採用していること。
1-1-11	集合モジュールのアナログアウト機能は、追加ユニット無しの一体型の構造であること。
1-1-12	集合モジュールは、様々な運用を想定し画面表示は180度ローテーション可能な機能を有すること。
1-1-13	トレンドデータ、リストデータ、不整脈リコール等の各データは、集合モジュールに保存されており、移動の
	際も集合モジュールを移動することによりデータも移動する機能を有していること。
1-1-14	トレンドデータ、リストデータ等の各データは、集合モジュールに1分間隔で24時間分保存可能なこと。
1-1-15	患者ID、患者名、年齢が集合モジュールに保存可能なこと。
1-1-16	観血血圧のゼロバランスが集合モジュールで操作可能なこと。
1-1-17	データは、全く途切れが無く連続的データとして受け渡しする機能を有すること。
1-1-18	集合モジュールにはバッテリが搭載されており、集合モジュール単体で5時間以上連続動作可能なこと。
1-1-19	集合モジュールにIABPなどへの心電図と血圧波形を出力する機能を有すること。
1-1-20	麻酔ガス、CO2、O2、N2Oが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。
1-1-21	ガス交換(VO2、VCO2)、エネルギー消費量(EE)、呼吸商(RQ)が測定可能なモジュールを搭載可能なこ
	<u></u>
1-1-22	フロー、プレッシャー、ボリューム、TV、MV、PEEPが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。
1-1-23	BISが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。
1-1-24	筋弛緩が測定可能なモジュールを搭載可能なこと。
1-1-25	外部機器とインターフェースデバイスを介して、ベッドサイドモニタでデータの一元管理が可能なこと。
1-1-26	外部機器インターフェースデバイスは、1台で同時に最大8台接続し、データの取り込みが可能なこと。
1-1-27	アラーム状態を確認しやすいように、本体上部にアラームライトを標準装備していること。
1-1-28	医療現場の環境を考慮し、モニタ本体にファンがないこと。
1-1-29	液晶画面は反射を抑えた映り込みのない構造であること。
1-1-30	院内上位システムより時刻情報を取得し、ベッドサイドモニタへ時刻同期が可能なこと
1-2	画面表示に関して、以下の要件を満たすこと。
1-2-1	日本語表示であること。
1-2-2	測定項目の多様化に対応して最大8波形の同時表示、心電図12誘導測定時は12波形を同時表示可能
	なこと。
1-2-3	測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示
1 2 3	
1_2_4	する機能を有すること。
1-2-4	波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。
1-2-5	波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有してい
<u> </u>	ること。
1-2-6	測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。
1-2-7	他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。
1-2-8	メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。
1-3	測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。
1-3-1	測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。
1-3-2	ネットワーク回線はイーサーネットであること。
1-3-3	他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以
' ' ' '	上、6パラメータ以上同時表示できること。
1-3-4	エ、6バラグータ以上向時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。
1-3-4	川心 ツバ衣小している思有 / 一ブの記録がり 化なこと。

1-3-5	同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。
1-3-6	同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発
' ' '	生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。
1-3-7	1-3-6の機能で、表示させるベッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。
1-3-8	同一ケアエリア内の他ベッドのアラームを解除する機能を有していること。
1-3-9	ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。
1-4	測定項目に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-1	心電図測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	心電図は3電極法、5電極及び10電極法により測定可能なこと。
	心拍数は20~300回/分の範囲で計測可能なこと。
1-4-1-3	医療現場の環境を考慮し、心電図フィルターを4種類選択可能なこと。
1-4-1-4	19種類以上の不整脈解析が可能なこと。
	不整脈解析機能で5電極以上を装着したとき、信頼性の高い不整脈解析を行うため4誘導以上を同時に
' + ' 5	解析していること。
1-4-1-6	肝切していること。
	信頼性の高い不整脈検出を行うため、年齢入力により4段階以上に区別された年齢別アルゴリズムで不
	整脈解析が行われること。
1-4-1-7	QT、QTcの計測が可能であること。
	Afib(心房細動)の検出が可能であること。
	一画面に標準12誘導心電図を表示可能なこと。
1-4-1-10	標準12誘導心電図の心電図解析機能が装備されていること。
	標準12誘導心電図の解析結果を15件以上モニタ本体に保存可能なこと。
1-4-1-12	標準12誘導心電図の定時心電図解析機能を有すること。設定時間は5分、15分、30分、60分、90分、
	2時間、4時間、8時間、12時間の時間間隔から選択可能なこと。
1-1-1-12	STアラーム発生時における自動標準12誘導心電図解析機能を有していること。
1-4-1-13	ローナー カルエ呼にのける日到保午 2 助寺で単国所が版形で行していること。
	ST計測ポイントを20、40、60、80(ms)から選択可能なこと。
1-4-1-15	他の計測波形と共に3つのSTトレンドと3つのSTテンプレート波形を同時表示する機能を有すること。ST
	テンプレート波形表示は基準波形と現在の波形を重ね合わせて表示する機能を有すること。
1-4-1-16	正確なSTを計測するために、心雷図のLow Cut Filterは0. 05Hzであること。
1-1-17	ペースメーカーモード機能を有していること。
1 4 1 10	ペースメーカーモードとして、「非表示」「表示(ペース1)」と「高感度(ペース2)」を選択できること。
1-4-1-19	心電図電極から信号の質が低下した時、リード不良のメッセージが表示されること。
1-4-1-20	心電図電極外れなどにより心拍数が測定できない場合に、自動的に観血血圧又はSpO2の脈拍数に切り
	替え表示する機能を有すること。
1-4-1-21	 5電極以上使用時に、電極外れなどにより心電図波形が表示できない時、自動的に表示可能な別の誘導
' - ' - '	に切り替える機能を有していること。
	こりり百んの成形で有していること。
	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-2-1	<u>呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。</u> 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。
1-4-2-1	<u>呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。</u> 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。
1-4-2-1	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 「呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 「呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 「呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 「「で吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 「で吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 「で吸の検出誘導は、IまたはII誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 「で吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 「呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 「「で吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時は I または II 誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時は I または II 誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導の他にRL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-4	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導の他にRL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導の他にRL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時は I または II 誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 「呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブロバランスはワンタッチで同時に実行可能なこと。 大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバラ
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導の他にRL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のブルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブルは10種類以上から選択可能なこと。 、大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバランスを実行可能であること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I または II 誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時は I または II 誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 「呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブロバランスはワンタッチで同時に実行可能なこと。 大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバラ
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液出しに呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、「または II 誘導に切り替え可能なこと。 「中吸の検出誘導は、「または II 誘導に切り替え可能なこと。 「中吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 「観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧のゼロペランスはワンタッチで同時に実行可能なこと。 観血血圧のゼロペランスはワンタッチで同時に実行可能なこと。 大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロパランスを実行可能であること。 患者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、「または II 誘導に切り替え可能なこと。 「呼吸液を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、「または II 誘導に切り替え可能なこと。 「呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 、気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバランスを実行可能であること。 患者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 「ABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形とに呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、Iまたは II 誘導に切り替え可能なこと。 呼吸の検出誘導は、Iまたは II 誘導に切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 表の間で関いてリンクッチで同時に実行可能なこと。 大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバランスを実行可能であること。 ま者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 IABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有ること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-6 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10	呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 「呼吸別定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 「中吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧側に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に66h以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 しまるのラベルは10種類以上から選択可能なこと。 表面の語でのラベルは10種類以上から選択可能なこと。 表面の語であること。 表面の語であること。 表面の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 1ABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈圧呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈圧呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈圧呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈のアーチファクト除去プログラムを有し、トランスデューサのゼロ校正、システムのフラッシュ、採血時
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-6 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10	呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸機出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のウベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のウゼロバランスはワンタッチで同時に実行可能なこと。 、大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバランスを実行可能であること。 最者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 にABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈に呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有していること。 動脈に呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有していること。 動脈に呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有していること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-6 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10	呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 「呼吸別定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 「中吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧側に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に66h以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 しまるのラベルは10種類以上から選択可能なこと。 表面の語でのラベルは10種類以上から選択可能なこと。 表面の語であること。 表面の語であること。 表面の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 1ABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈圧呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈圧呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈圧呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈のアーチファクト除去プログラムを有し、トランスデューサのゼロ校正、システムのフラッシュ、採血時
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-2 1-4-3-3 1-4-3-6 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10 1-4-3-11	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸数計測範囲は〇~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液を見やすくするために、計算導に切り替え可能なこと。 「中吸の検出誘導は、Iまたは工誘導に切り替え可能なこと。 「可吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 「可吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧制定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧制定に同じに6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のブベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブイルターを選択可能なこと。 ま者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 あいまであること。 患者の循環動態を正確に把握するために、血圧液形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 はABP使用時の不規則な動脈圧液形補正する機能を有していること。 動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有っていること。 動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有っていること。 動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有していること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10 1-4-3-12	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液性出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 「可吸の検出誘導は、IまたはII誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 「可吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 「観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧制度に同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブベルは10種類以上から選択可能なこと。 表情質動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 最者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 IABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈に呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈のアーチファクト除去プログラムを有し、トランスデューサのゼロ校正、システムのフラッシュ、採血時などによって発生する不要なアラームを除去し、メッセージのみを表示する機能を有していること。 脳機能モニタと接続し頭蓋内圧(ICP)の表示が可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10 1-4-3-12	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸数計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸側定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧制度に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のゼロバランスはワンタッチで同時に実行可能なこと。 大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバランスを実行可能であること。 患者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 助脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有していること。 動脈に呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有していること。 動脈のアーチファクト除去プログラムを有し、トランスデューサのゼロ校正、システムのフラッシュ、採血時などによって発生する不要なアラームを除去し、メッセージのみを表示する機能を有していること。 観能をエータと接続し頭蓋内圧(ICP) が同時に測定さない為、血圧スタンバイ機能を有していること。 脳機能モニタと接続し頭蓋内圧(ICP) が同時に測定さない為、血圧スタンバイ機能を有していること。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10 1-4-3-12	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液性出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 「可吸の検出誘導は、IまたはII誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 「可吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 「観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧制度に同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブベルは10種類以上から選択可能なこと。 表情質動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 最者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 IABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈に呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈のアーチファクト除去プログラムを有し、トランスデューサのゼロ校正、システムのフラッシュ、採血時などによって発生する不要なアラームを除去し、メッセージのみを表示する機能を有していること。 脳機能モニタと接続し頭蓋内圧(ICP)の表示が可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10 1-4-3-12 1-4-3-13	呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測を開はつ~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形とに呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはI誘導に切り替え可能なこと。 呼吸の検出誘導は、IまたはI誘導に切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を目時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧を1別範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブベルは10種類以上から選択可能なこと。 表情関か中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロパランスを実行可能であること。 最初循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 「ABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈に呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈に呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈のアーチファト除去プログラムを有し、トランスデューサのゼロ校正、システムのフラッシュ、採血時などによって発生する不要なアラームを除去し、メッセージのみを表示する機能を有していること。 観血血圧測定開始までの間、不要なアラームを鳴らさない為、血圧スタンパイ機能を有していること。 したいること。 に関策的圧(ICP)が同時に測定されている時、脳灌流圧(CPP)を自動計算し表示可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10 1-4-3-12 1-4-3-13	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形と見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導の他にRL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 、
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3 1-4-3-1 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10 1-4-3-12 1-4-3-13	呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測を開はつ~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形とに呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはI誘導に切り替え可能なこと。 呼吸の検出誘導は、IまたはI誘導に切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧を目時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。 観血血圧を1別範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のブベルは10種類以上から選択可能なこと。 表情関か中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロパランスを実行可能であること。 最初循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。 「ABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。 動脈に呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈に呼吸性変動(SPV/PPV)をモニタリングする機能を有すること。 動脈のアーチファト除去プログラムを有し、トランスデューサのゼロ校正、システムのフラッシュ、採血時などによって発生する不要なアラームを除去し、メッセージのみを表示する機能を有していること。 観血血圧測定開始までの間、不要なアラームを鳴らさない為、血圧スタンパイ機能を有していること。 したいること。 に関策的圧(ICP)が同時に測定されている時、脳灌流圧(CPP)を自動計算し表示可能なこと。
1-4-2-1 1-4-2-2 1-4-2-3 1-4-2-4 1-4-2-5 1-4-2-6 1-4-2-7 1-4-2-8 1-4-2-9 1-4-3-1 1-4-3-1 1-4-3-3 1-4-3-4 1-4-3-5 1-4-3-6 1-4-3-7 1-4-3-8 1-4-3-9 1-4-3-10 1-4-3-11 1-4-3-12 1-4-3-13	呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。 呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。 呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。 呼吸液形と見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸液形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、IまたはII誘導に切り替え可能なこと。 5電極使用時はIまたはII誘導の他にRL-LL誘導にも切り替え可能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。 、

1-4-4-3	高度な計測精度を実現するためにステップ減圧方式及びダブルチューブを採用していること。
	連続測定モードでは、測定時間短縮のため前回の測定状況より4段階の減圧ステップで測定するSuper
' ' ' ' '	Stat機能を搭載していること。
1 4 4 5	
	成人、小児、新生児の非観血血圧を測定可能なこと。
1-4-4-6	非観血血圧計測範囲は以下の範囲で測定可能なこと。
	成人: 15~300mmHg、小児: 15~260mmHg、新生児: 15~155mmHg 安全性を配慮し成人、小児、新生児に応じて初期過加圧値の制限値が設定可能なこと。
1-4-4-7	安全性を配慮し成人、小児、新生児に応じて初期過加圧値の制限値が設定可能なこと。
1-4-5	SpO2測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-5-1	SpO2 計測範囲は1~100%の範囲で測定可能なこと。
	SpO2測定方式は2波長光透過式であること。
1 7 0 2	ODOと例とり対話とが及りした思いていること。
1-4-6	体温測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	中温別とに対して、以下の安計を同に9にと。
	体温はサーミスタ法により体表面及び直腸温等の測定が可能なこと。
	体温は2ch測定可能なこと。
	体温は、0~45℃の範囲で測定可能なこと。
1-4-6-4	2ch以上測定しているときは差温を表示可能なこと。
1-4-7	ETCO2測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-7-1	CO2はサイドストリームで測定可能なこと。
	測定原理は赤外線吸光方式であること。
	関定が全はが不勝致だりなくめること。 ETCO2 は0~113mmHgの範囲で測定可能なこと。
1-4-7-4	表示中のETCO2波形の掃引速度は0.625、6.25、12.5、25、50mm/SECのいずれかに設定可能
'-4-/-4	衣が中のと1002波形の掃引速度は0. 625、6. 25、12. 5、25、50mm/ SECのい9 れがに設定可能 なこと。
	はして。
1 1 2	
1-4-8	麻酔ガス測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	麻酔ガス、N20、CO2、O2の各計測値をサイドストリーム方式により測定可能なこと。
1-4-8-2	1-4-8-1の測定はラックに抜き差し可能なモジュール方式であること。
1-4-8-3	O2センサーはパラマグネティックを採用しておりブレスバイブレスで計測可能なこと。
	麻酔ガスはエンフルラン、ハロタン、イソフルラン、デスフルラン、セボフルランを測定可能なこと。
	2種類以上の麻酔ガスを自動認識可能なこと。
	表示中のETCO2波形の掃引速度は、0.625、6.25、12.5、25、50mm/secのいずれかに設定可
1-4-8-6	能なこと。
1-4-8-7	麻酔ガスの波形表示が可能なこと。
1 4 0 0	MAC値及びMACage値の表示が可能なこと。
1-4-8-8	MACIE及CMACageileの表示が可能なこと。
1-4-9	呼吸機能(スパイロメトリー)測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-9-1	エミ:
	モジュールの追加によりTV, MV, PEEP、コンプライアンスの測定が可能であること。
1-4-9-2	Flow、Pawの測定が可能であること。
1-4-9-2 1-4-9-3	
1-4-9-3	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。
1-4-9-3 1-4-9-4	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。
1-4-9-3 1-4-9-4 1-4-9-5	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。
1-4-9-3 1-4-9-4 1-4-9-5 1-4-9-6	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-11 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-11 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルキー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-11 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1 - 4 - 9 - 3 \\ 1 - 4 - 9 - 4 \\ 1 - 4 - 9 - 5 \\ 1 - 4 - 9 - 6 \\ 1 - 4 - 9 - 7 \\ 1 - 4 - 9 - 8 \\ 1 - 4 - 9 - 9 \\ 1 - 4 - 9 - 10 \\ 1 - 4 - 9 - 12 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1 - 4 - 9 - 3 \\ 1 - 4 - 9 - 4 \\ 1 - 4 - 9 - 5 \\ 1 - 4 - 9 - 6 \\ 1 - 4 - 9 - 7 \\ 1 - 4 - 9 - 8 \\ 1 - 4 - 9 - 9 \\ 1 - 4 - 9 - 10 \\ 1 - 4 - 9 - 12 \\ \hline 1 - 5 \\ 1 - 5 - 1 \\ 1 - 5 - 2 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 「Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1 - 4 - 9 - 3 \\ 1 - 4 - 9 - 4 \\ 1 - 4 - 9 - 5 \\ 1 - 4 - 9 - 6 \\ 1 - 4 - 9 - 7 \\ 1 - 4 - 9 - 8 \\ 1 - 4 - 9 - 9 \\ 1 - 4 - 9 - 10 \\ 1 - 4 - 9 - 12 \\ \end{array} $ $ \begin{array}{r} 1 - 5 \\ 1 - 5 - 1 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 「Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 虚者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やす
$ \begin{array}{r} 1 - 4 - 9 - 3 \\ 1 - 4 - 9 - 4 \\ 1 - 4 - 9 - 5 \\ 1 - 4 - 9 - 6 \\ 1 - 4 - 9 - 7 \\ 1 - 4 - 9 - 8 \\ 1 - 4 - 9 - 9 \\ 1 - 4 - 9 - 10 \\ 1 - 4 - 9 - 12 \\ \hline 1 - 5 \\ 1 - 5 - 1 \\ 1 - 5 - 2 \\ 1 - 5 - 3 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 虚者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15,30,60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ 1-5-4 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 意者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ \hline 1-5-4 \\ 1-5-5 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH20の範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。 グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ 1-5-4 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 意者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ \hline 1-5-4 \\ 1-5-5 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 長初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 虚者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。 グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ \hline 1-5-4 \\ 1-5-5 \\ 1-5-6 \\ 1-5-7 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100mH20の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100mH20の範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VC02(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 参値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ \hline 1-5-4 \\ 1-5-5 \\ 1-5-6 \\ 1-5-7 \\ 1-5-8 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 「Flow測定範囲は大でー100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 虚者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。 グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ \hline 1-5-4 \\ 1-5-5 \\ 1-5-6 \\ 1-5-7 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vルーブ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH20の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH20の範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、スナップショットで保存される波形は1件あたり2波形以上保存可能なこと。 STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ \hline 1-5-4 \\ 1-5-5 \\ 1-5-6 \\ 1-5-7 \\ 1-5-8 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は成人で100~mH2Oの範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、スナップショットで保存される波形は1件あたり2波形以上保存可能なこと。 STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。 STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ 1-5-4 \\ 1-5-5 \\ 1-5-6 \\ 1-5-7 \\ 1-5-8 \\ 1-5-9 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vルーブ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH20の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH20の範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、スナップショットで保存される波形は1件あたり2波形以上保存可能なこと。 STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ 1-5-4 \\ 1-5-5 \\ 1-5-6 \\ 1-5-7 \\ 1-5-8 \\ 1-5-9 \\ 1-5-10 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 F-Vループ、P-Vループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 「表道内圧測定範囲は成人で100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH20の範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。 を
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ 1-5-4 \\ 1-5-5 \\ 1-5-6 \\ 1-5-7 \\ 1-5-8 \\ 1-5-9 \\ 1-5-10 \\ \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は成人で100~mH2Oの範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やすく表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、スナップショットで保存される波形は1件あたり2波形以上保存可能なこと。 STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。 STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2000mlの範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 長初に保存したループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 クラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザーブリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、スナップショットで保存される波形は1件あたり2波形以上保存可能なこと。 STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。 最新の36件以上の不整脈リコール波形及び10件のSTリコールは計測部(集合モジュール)に保存可能なこと。 最新の36件以上の不整脈リコール波形及び10件のSTリコールは計測部(集合モジュール)に保存可能なこと。
$ \begin{array}{r} 1-4-9-3 \\ 1-4-9-4 \\ 1-4-9-5 \\ 1-4-9-6 \\ 1-4-9-7 \\ 1-4-9-8 \\ 1-4-9-9 \\ 1-4-9-10 \\ 1-4-9-12 \\ \hline 1-5-1 \\ 1-5-2 \\ 1-5-3 \\ 1-5-6 \\ 1-5-7 \\ 1-5-8 \\ 1-5-9 \\ 1-5-10 \\ 1-5-11 \\ \hline 1-6 \end{array} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~201/分の範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH20の範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 FーVループ、PーVループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(三酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 アフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 アフィックトレンドを表示可能なこと。 オープ・アン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア
$ \begin{array}{r} $	Flow、Pawの測定が可能であること。 FーVループ、PーVループの表示が可能であること。 TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2000mlの範囲で測定可能なこと。 MV(分時換気量)測定範囲は成人で2000mlの範囲で測定可能なこと。 Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。 気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。 フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。 長初に保存したループは、5ループ以上保存可能であること。 最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。 VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。 EE(エネルギー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。 患者データに関して、以下の要件を満たすこと。 1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 数値トレンドは、1、5、15、30、60分間隔切り替えで表示可能なこと。 クラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。 トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザーブリンタに出力可能なこと。 リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。 イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。 不整脈、スナップショットで保存される波形は1件あたり2波形以上保存可能なこと。 STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。 最新の36件以上の不整脈リコール波形及び10件のSTリコールは計測部(集合モジュール)に保存可能なこと。 最新の36件以上の不整脈リコール波形及び10件のSTリコールは計測部(集合モジュール)に保存可能なこと。

1-6-3	警報音は優先度により4種類以上設定可能なこと。
1-6-4	患者アラーム以外に、機械的あるいは電気的なトラブルに対応できるようにシステムアラームを装備してい
	ること。
1-6-5	現在の計測値から自動的にアラーム値を設定する機能を有すること。
1-6-6	アラーム発生時、自動記録が可能なこと。
1-6-7	アラーム中断中でも優先度の高いアラームが発生した場合、中断を解除しアラームが鳴る機能を有してい
1-0-7	ること。
1-6-8	アラーム状態が継続することで、自動的に優先度を上げる機能を有していること。
1-6-9	運用において、各パラメータアラーム表示及び音声アラーム条件を変更するアラームショートカットキーを
1-0-9	有すること。
1 6 10	夜間に患者の安眠を妨げないように、ベッドサイドモニタのディスプレイ表示及びベッドサイドモニタのみの
1-6-10	アラーム機能を停止することが可能なこと。
1-6-11	患者一時退出時のスタンバイ機能を有していること。
1-6-12	アラーム一時停止機能を有していること。
1-7	記録機能に関して、以下の要件を満たすこと。
1-7-1	ベッドサイドでの記録操作により50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。
1-7-2	患者情報の多様化に伴い50mmレコーダにて4波形以上の連続波形記録が可能なこと。
1 7 0	看護記録をサポートするために、トレンドグラフ記録、数値リスト記録、不整脈リコール波形記録が可能な
1-7-3	
1-7-4	心疾患の監視のため、標準12誘導心電図解析のレポート記録が可能なこと。
1-7-5	レコーダの記録速度は、1、5、10、12. 5、25、50mm/secで切替え可能なこと。
1-7-6	同一のネットワーク上の任意の50mm幅のレコーダを記録先として設定できる機能を有すること。
2	セントラルモニタシステム(リアルタイムビュワー)
2-1	セントラルモニタシステムは、以下の要件を満たしていること
2-1-1	1台のディスプレイで同時に最大11人の患者の心電図及び計測値を表示可能なこと。
2-1-2	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。
2-1-3	モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。
	全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、
2-1-4	1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。
2-1-5	アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。
2-1-6	生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。
2-1-7	多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。
2-1-8	院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと
	患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択
2-1-9	できること。
2-1-10	スタッフステーションから遠いエリアについては、セントラルモニタシステムのスレーブモニタを設置すること
2-1-11	表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。
2-1-12	紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。
2-1-13	数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。
2-1-14	プリントスクリーン機能があること。
2-1-15	パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。
2-1-16	自動ログアウト機能を設定可能であること。
2-1-10	
2-1-17	柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。
2	 波形ファイリングシステム
3	波形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること
3-1-1 3-1-2	手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。
3-1-3	心電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。
3-1-4 3-1-5	収集されたバイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。
3-1-5	バイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有する
0 1 0	
3-1-6	生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること
3-1-7	生体モニタでアラームが発生した場合、その際の波形情報にアラームイベントを取り込めること。アラーム
0 1 0	イベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。
3-1-8	ベッドサイドモニタから実波形情報を取得できること。入室中の実波形保存期間は、最大1ヶ月間保存でき
	ること。
3-1-9	波形ファイリングシステムは、導入後のメンテナンス期間も考慮し、新品ハードウェアと最新ソフトウェア
	バージョンで構築すること
(2)	49
(3)ICU生体情	報モニタリングー式については以下の要件を満たすこと。
1	ベッドサイドモニタ
1-1	ベッドサイドモニタ本体(以下「モニタ本体」という)は、以下の要件を満たすこと。
1-1-1	患者の生体情報を監視する有線式モニタであること。
1-1-2	モニタ本体、表示部が一体型構造であること。
	メインディスプレイは19型以上のタッチ式カラー液晶ディスプレイであること。
1-1-3	プロンプイスプレイは、19主攻エのブブブルカブ 次曲ブイスプレイで的ること。
1-1-3 1-1-4	各パラメーターはモジュール形式で測定可能なこと。

1-1-5	心電図、呼吸、SpO2、非観血血圧、観血血圧、体温の基本パラメータは、一つの集合モジュールで測定
1 1 3	可能なこと。
1-1-6	パラメータケーブルの抜き差しで計測および表示パラメータが柔軟に変更できること。
	防水・防塵規格においては、集合モジュール本体はIP44、パラメータケーブルはIP47の規格を満たして
1-1-7	いること。
	集合モジュールで心電図、呼吸、非観血血圧、SpO2、体温2ch、観血血圧4ch、CO2を同時計測可能な
1-1-8	一定と。
1 1 0	
1-1-9	集合モジュールは、7インチ以上のディスプレイを搭載していること。
1-1-10	集合モジュールの液晶は、外部からの衝撃に強い化学強化ガラスのドラゴントレイルを採用していること。
1-1-11	集合モジュールのアナログアウト機能は、追加ユニット無しの一体型の構造であること。
1-1-12	集合モジュールは、様々な運用を想定し画面表示は180度ローテーション可能な機能を有すること。
1 1 10	トレンドデータ、リストデータ、不整脈リコール等の各データは、集合モジュールに保存されており、移動の
1-1-13	際も集合モジュールを移動することによりデータも移動する機能を有していること。
1-1-14	トレンドデータ、リストデータ等の各データは、集合モジュールに1分間隔で24時間分保存可能なこと。
1-1-15	患者ID、患者名、年齢が集合モジュールに保存可能なこと。
1-1-16	観血血圧のゼロバランスが集合モジュールで操作可能なこと。
1-1-17	データは、全く途切れが無く連続的データとして受け渡しする機能を有すること。
1-1-18	集合モジュールにはバッテリが搭載されており、集合モジュール単体で5時間以上連続動作可能なこと。
1-1-19	集合モジュールにIABPなどへの心電図と血圧波形を出力する機能を有すること。
1-1-20	麻酔ガス、CO2、O2、N2Oが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。
	ガス交換(VO2、VCO2)、エネルギー消費量(EE)、呼吸商(RQ)が測定可能なモジュールを搭載可能なこ
1-1-21	
1-1-22	フロー、プレッシャー、ボリューム、TV、MV、PEEPが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。
	ノー・、ノレノノヤー、ハソユーム、IV、NIV、FEEFが別たり形はモンユールを搭載り貼はCC。
1-1-23	BISが測定可能なモジュールを搭載可能なこと。
1-1-24	筋弛緩が測定可能なモジュールを搭載可能なこと。
1-1-25	外部機器とインターフェースデバイスを介して、ベッドサイドモニタでデータの一元管理が可能なこと。
1-1-26	外部機器インターフェースデバイスは、1台で同時に最大8台接続し、データの取り込みが可能なこと。
1-1-27	アラーム状態を確認しやすいように、本体上部にアラームライトを標準装備していること。
1-1-28	医療現場の環境を考慮し、モニタ本体にファンがないこと。
1-1-29	液晶画面は反射を抑えた映り込みのない構造であること。
1-1-30	
	院内上位システムより時刻情報を取得し、ベッドサイドモニタへ時刻同期が可能なこと
1-1-31	各ベッドの運用に合わせて、スレーブモニタを必要台数設置すること。
1-2	画面表示に関して、以下の要件を満たすこと。
1-2-1	日本語表示であること。
1 1 0 0	測定項目の多様化に対応して最大8波形の同時表示、心電図12誘導測定時は12波形を同時表示可能
1-2-2	測定項目の多様化に対応して最大8波形の同時表示、心電図12誘導測定時は12波形を同時表示可能
	なこと。
1-2-2	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示
1-2-3	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示 する機能を有すること。
	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示 する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。
1-2-3	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示 する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有してい
1-2-3 1-2-4 1-2-5	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 ネットワーク回線はイーサーネットであること。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 ネットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 地ベッド表示機能により、ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 ルミデータの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 ネットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 1-3-6の機能で、表示させるベッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 1-3-6の機能で、表示させるベッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドのアラームを解除する機能を有していること。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 ルミデータの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 ネットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 1-3-6の機能で、表示させるベッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 ルベッド表示機能により、ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 1-3-6の機能で、表示させるベッドサイドモニタ及びアラームの優先を個別に設定可能なこと。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 ネットワーク回線はイーサーネットであること。 他ペッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内のはペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 1-3-6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドのアラームを解除する機能を有していること。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずペッド間通信が可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 他ペッド表示機能により、ネットワーク目線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 やペッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号とを観別に設定可能なこと。 1-3-6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 カットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。 測定項目に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 ネットワーク回線はイーサーネットであること。 他ペッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内のはペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 1-3-6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドのアラームを解除する機能を有していること。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずペッド間通信が可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1 1-4-1	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモータに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 1-3-6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 同一ケアエリアのの他ベッドのアラームを解除する機能を有していること。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。 心電図測定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図測定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1 1-4-1 1-4-1-2	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、以下の要件を満たすこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 1-3-6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 カーカアエリア内の他ペッドのアラームを解除する機能を有している先度を個別に設定可能なこと。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずペッド間通信が可能なこと。 小電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 小電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 小電図は3電極法、5電極及び10電極法により測定可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1 1-4-1 1-4-1-1 1-4-1-2 1-4-1-3	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 州で項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 ルベッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 ルベッド表示をに関して、以下の要件を満たすこと。 地ベッド表示機能により、ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 他ベッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ベッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ベッドでアラームが発生した時、ベッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内において他のベッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 「コークアエリア内の他ベッドのアラームを解除する機能を有していること。 「コークアエリア内の他ベッドのアラームを解除する機能を有していること。 「コークアエリア内の他ベッドのアラームを解除する機能を有していること。 「カーケアエリア内の他ペッドのアラームを解除する機能を有していること。 「関別定に関して、以下の要件を満たすこと。 「地質以上では下では、大きないには、大きないいは、大きないには、大きないには、大きないには、いきないには、いきな
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1 1-4-1-1 1-4-1-2 1-4-1-3 1-4-1-4	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 別定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 ルペッド表示機能により、ネットワーク巨線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 たパラメータ以上同時表示できること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 「コー6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 「コークアエリア内の他ペッドのアラームを解除する機能を有していること。 オットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。 「加定項目に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 「別定項目に関して、以下の要件を満たすこと。 「別定項目に関して、以下の要件を満たすこと。 「別定項目に関して、以下の要件を満たすこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1 1-4-1 1-4-1-1 1-4-1-2 1-4-1-3	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 ルベッド表示機能により、ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 ネットワーク回線はイーサーネットであること。 他ペッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 コー3ー6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 1ー3ー6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。 小面図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 で電図は3電極法、5電極及び10電極法により測定可能なこと。 「19種類以上の不整脈解析が可能なこと。 不整脈解析機能で5電極以上を装着したとき、信頼性の高い不整脈解析を行うため4誘導以上を同時に
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1 1-4-1-1 1-4-1-2 1-4-1-3 1-4-1-4 1-4-1-5	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 測定データの伝送に関して、以下の要件を満たすこと。 測定データは有線ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 本ットワーク回線はイーサーネットであること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 しペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内において他のペッドでアラームが発生した場合、指定したホストモニタに、アラームが発生しているモニタ画面を自動的にポップアップさせるアプリケーション機能を有すること。 「コークアエリア内の他ペッドのアラームを解除する機能を有していること。 オットワーク構築でセントラルモニタを使用せずペッド間通信が可能なこと。 本ットワーク構築でセントラルモニタを使用せずペッド間通信が可能なこと。 小電図は3電極法、5電極及び10電極法により測定可能なこと。 を療現場の環境を考慮し、心電図フィルターを4種類選択可能なこと。 医療現場の環境を考慮し、心電図フィルターを4種類選択可能なこと。 医療現場の環境を考慮し、心電図フィルターを4種類選択可能なこと。 「独類は20~300回ノ分の範囲で計測可能なこと。 医療現場の環境を考慮し、心電図フィルターを4種類選択可能なこと。
1-2-3 1-2-4 1-2-5 1-2-6 1-2-7 1-2-8 1-3 1-3-1 1-3-2 1-3-3 1-3-4 1-3-5 1-3-6 1-3-7 1-3-8 1-3-9 1-4 1-4-1 1-4-1-1 1-4-1-2 1-4-1-3 1-4-1-4	なこと。 測定項目が少ない場合は、ケーブルを抜くことにより、見易い画面に自動レイアウトし、数値を大きく表示する機能を有すること。 波形表示パターンは、患者の容体に応じて裏モードに入ることなく、自由に変更可能なこと。 波形と数値の関係が確認し易いよう、波形と計測数値を任意に横一列に整列表示させる機能を有していること。 測定項目の多様化に対応して、20項目以上の計測値の同時表示が可能なこと。 他ペッド情報を表示中でも、モニタリング中の患者のリアルタイム波形を全て表示可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 メイン画面とは別に、単独で画面構成可能なセカンドディスプレイの接続が可能なこと。 ルベッド表示機能により、ネットワーク回線によりセントラルモニタへ伝送可能なこと。 ネットワーク回線はイーサーネットであること。 他ペッド表示機能により、ネットワーク接続されている他床の画面表示が可能であり、1画面上に6波形以上、6パラメータ以上同時表示できること。 他ペッド表示している患者データの記録が可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 同一ケアエリア内の他ペッドでアラームが発生した時、ペッド番号と警報表示が表示可能なこと。 コー3ー6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 1ー3ー6の機能で、表示させるペッドサイドモニタ及びアラームの優先度を個別に設定可能なこと。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。 ネットワーク構築でセントラルモニタを使用せずベッド間通信が可能なこと。 小面図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 心電図別定に関して、以下の要件を満たすこと。 で電図は3電極法、5電極及び10電極法により測定可能なこと。 「19種類以上の不整脈解析が可能なこと。 不整脈解析機能で5電極以上を装着したとき、信頼性の高い不整脈解析を行うため4誘導以上を同時に

	QT、QTcの計測が可能であること。
1-4-1-8	Afib(心房細動)の検出が可能であること。
	一画面に標準12誘導心電図を表示可能なこと。
	標準12誘導心電図の心電図解析機能が装備されていること。
1-4-1-11	標準12誘導心電図の解析結果を15件以上モニタ本体に保存可能なこと。
1-4-1-12	原学 12 防導心電図の解析商業を19件以上でニッチ体に床行り能なこと。 標準12誘導心電図の定時心電図解析機能を有すること。設定時間は5分、15分、30分、60分、90分、
	と時間、年時間、0時間、12時間の時間間隔かり送がり配みこと。
	STアラーム発生時における自動標準12誘導心電図解析機能を有していること。
1-4-1-14	ST計測ポイントを20、40、60、80(ms)から選択可能なこと。
1-4-1-15	Thin Min Thin Thin
	ナンノレート波形衣示は基準波形と現任の波形を里ね合わせて表示する機能を有すること。
	正確なSTを計測するために、心電図のLow Cut Filterは0. 05Hzであること。
	ペースメーカーモード機能を有していること。
	ペースメーカーモードとして、「非表示」「表示(ペース1)」と「高感度(ペース2)」を選択できること。
1-4-1-19	心電図電極から信号の質が低下した時、リード不良のメッセージが表示されること。
1-4-1-20	心電図電極外れなどにより心拍数が測定できない場合に、自動的に観血血圧又はSpO2の脈拍数に切り替え表示する機能を有すること。
	省え衣示りる域能を有りること。 「虚核い」は 中間に、 電板はあたじに しじょ 電内がでんき エスキャンは、 白動的にまこうがた別の話道
1-4-1-21	5電極以上使用時に、電極外れなどにより心電図波形が表示できない時、自動的に表示可能な別の誘導
	に切り替る機能を有していること。
1 4 0	
1-4-2	<u>呼吸測定に関して、以下の要件を満たすこと。</u>
	呼吸計測はインピーダンス方式により測定可能なこと。
	呼吸数計測範囲は0~200回/分で計測可能なこと。 呼吸計測で正確な呼吸数計測を行うため呼吸検出トリガポイントを変更可能なこと。
	呼吸検出トリガポイントは9段階以上変更可能なこと。 呼吸波形上に呼気吸気検出マーカを表示が可能なこと。
1-4-2-0	呼吸波形を見やすくするために、自動感度機能を有していること。 呼吸の検出誘導は、I またはⅡ誘導に切り替え可能なこと。
	Fryの検ロ筋等は、「または耳筋等に切り管え可能なこと。 5電極使用時は「またはⅡ誘導の他に RL-LL誘導にも切り替え可能なこと。
	回動機関用時は137には135等の他に RC-に35等にも切り替え中能なこと。 呼吸測定を正確に計測するために再学習機能を有すること。
1-4-2-9	一子・収別とで工作に引えます。 一子・収別とで工作に引えます。
1-4-3	 観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	観血血圧は同時に6ch以上の波形及び計測値の表示が可能なこと。
	観血血圧計測範囲は一98~349mmHgの範囲で測定可能なこと。
	観血血圧を4ch表示する場合は同軸スケール、分離スケールどちらでも表示可能なこと。
	観血血圧のラベルは10種類以上から選択可能なこと。
	観血血圧のゼロバランスはワンタッチで同時に実行可能なこと。
	大気開放中のチャネルと計測中のチャネルを自動的に判断し、大気開放中の血圧チャネルのみゼロバラ
1-4-3-6	ンスを実行可能であること。
1-4-3-7	患者の循環動態を正確に把握するために、血圧波形に2種類のフィルターを選択可能なこと。
	IABP使用時の不規則な動脈圧波形補正する機能を有していること。
	動脈圧呼吸性変動(SPV / PPV)をモニタリングする機能を有すること。
	もにゅう マラーも 10人 ナポロ ビーナナレ レニン ラブ・・リカ ビロサエ ン コニノ カラニ ン・ 一切 ナロ
1-4-3-10	割脈のアーナファクト除去プログラムを有し、トランステューザのゼロ校正、ンステムのフラッシュ、採皿時 などによって発生する不要なアラームを除去し、メッセージのみを表示する機能を有していること。 割血血圧測定関始までの関 不悪なアラールを鳴らさない為 血圧スタンバス機能を有していること
1-4-3-11	観血血圧測定開始までの間、不要なアラームを鳴らさない為、血圧スタンバイ機能を有していること。
1 / 2 10	脳機能エーカト接続 商業内区(ICD) のまみが可能なこと
1 4 0 10	MQ能モーラと技術し現盖内圧(ICP)の表示が可能なこと。 動脈圧(ART)と頭蓋内圧(ICP)が同時に測定されている時、脳灌流圧(CPP)を自動計算し表示可能なこ
1-4-3-13	ا ا
1-4-4	非観血血圧測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	非観血血圧はオシロメトリック法により測定可能なこと。
1-4-4-2	計測アルゴリズムはダイナマップアルゴリズムを採用していること。
1-4-4-3	高度な計測精度を実現するためにステップ減圧方式及びダブルチューブを採用していること。
1-4-4-4	連続測定モードでは、測定時間短縮のため前回の測定状況より4段階の減圧ステップで測定するSuper
1 7 7 4	Stat機能を搭載していること。
1-4-4-5	成人、小児、新生児の非観血血圧を測定可能なこと。
1-4-4-6	非観血血圧計測範囲は以下の範囲で測定可能なこと。
	成人:15~300mmHg、小児:15~260mmHg、新生児:15~155mmHg
1-4-4-7	安全性を配慮し成人、小児、新生児に応じて初期過加圧値の制限値が設定可能なこと。
<u> </u>	
1-4-5	SpO2測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	SpO2 計測範囲は1~100%の範囲で測定可能なこと。
1-4-5-2	SpO2測定方式は2波長光透過式であること。
<u></u>	
1-4-6	体温測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	体温はサーミスタ法により体表面及び直腸温等の測定が可能なこと。
	体温は2ch測定可能なこと。
1-4-6-3 1-4-6-4	体温は、0~45°Cの範囲で測定可能なこと。
1-4-6-4	2ch以上測定しているときは差温を表示可能なこと。
1 7 0 7	

1-4-7	ETCO2測定に関して、以下の要件を満たすこと。
1-4-7-1	CO2はサイドストリームで測定可能なこと。
	測定原理は赤外線吸光方式であること。
	ETCO2 は0~113mmHgの範囲で測定可能なこと。
	表示中のETCO2波形の掃引速度は0.625、6.25、12.5、25、50mm/SECのいずれかに設定可能
1-4-7-4	なこと。
	·6-C0
1-4-8	麻酔ガス測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	麻酔ガス、N20、CO2、O2の各計測値をサイドストリーム方式により測定可能なこと。
	1-4-8-1の測定はラックに抜き差し可能なモジュール方式であること。
1-4-8-3	O2センサーはパラマグネティックを採用しておりブレスバイブレスで計測可能なこと。
	麻酔ガスはエンフルラン、ハロタン、イソフルラン、デスフルラン、セボフルランを測定可能なこと。
1-4-8-5	2種類以上の麻酔ガスを自動認識可能なこと。
1-4-8-6	表示中のETCO2波形の掃引速度は、0.625、6.25、12.5、25、50mm/secのいずれかに設定可
	能なこと。
	麻酔ガスの波形表示が可能なこと。
1-4-8-8	MAC値及びMACage値の表示が可能なこと。
1-4-9	呼吸機能(スパイロメトリー)測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	モジュールの追加によりTV, MV, PEEP、コンプライアンスの測定が可能であること。
1-4-9-2	Flow、Pawの測定が可能であること。
1-4-9-3	FーVループ、PーVループの表示が可能であること。
	TV(一回換気量)測定範囲は成人で150~2000mlの範囲で測定可能なこと。
	MV(分時換気量)測定範囲は成人で2~20L/分の範囲で測定可能なこと。
	Flow測定範囲は成人で-100~100L/分の範囲で測定可能なこと。
	気道内圧測定範囲は-20~100cmH2Oの範囲で測定可能なこと。
	フローセンサーの死腔量は成人用で10ml以下であること。
	F-Vループ、P-Vループは、5ループ以上保存可能であること。
1-4-9-10	最初に保存したループは基準ループとして、リアルタイムループと重ねて表示可能なこと。
	VO2(酸素摂取量)、VCO2(二酸化炭素呼出量)の測定が可能であること。
	EE(エネルキー消費)、RQ(呼吸商)の表示が可能であること。
1 1 0 12	
1-4-10	BIS測定(脳波スペクトル分析)に関して、以下の要件を満たすこと。
	BIS(バイスペクトラルインデックス)、EEG(脳波)の測定が可能なこと。
1-4-10-2	サプレッション率(SR)、筋電図インデックス、入力信号クオリティーインデックス(SQI)表示が可能なこと。
1 4 10 2	クンレンションキ(ON)へ、加速区イン・ファイ、ハブロックタフタフィー・ファファイ(ORI)をかから 配金にこっトラ 測定百日 トー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1-4-10-3	サプレッション率(SR)、筋電図インデックス、入力信号クオリティーインデックス(SQI)表示が可能なこと。 上記測定項目は、脳波によるバイスペクトラルインデックス(BIS)のアルゴリズムを用いて算出されている こと。
	 EEG波形表示スケール 25-500μV、EEG波形掃引速度12.5、25、50mm/秒、BIS測定範囲0-10
	0、SQI測定範囲0-100%、SR測定範囲0-100%の範囲で測定可能なこと。
	0、3억(州) 左毛四0 100 70、31(州) 左毛四0 100 7007 平四 (州) たり形 なここ。
1-4-13	筋弛緩測定に関して、以下の要件を満たすこと。
	筋弛緩の測定が可能なこと。
1 4 11 0	別地板の別たがり形がらこ。 1 4 12 10 別ウドニックにセキギレゴ化かてジュールナデスなスニレ
1-4-11-2	1-4-13-1の測定はラックに抜き差し可能なモジュール方式であること。 測定可能なセンサーは、メカノセンサーとエレクトロセンサーの両タイプが使用可能なこと。
	TOF%、DBS%、Count、T1%、PTCの表示が可能なこと。
	刺激モードは、TOF、DBS、ST、PTCが可能であること。
1 1 1 1 1	測定間隔は以下の設定が可能なこと。 (TOE (DDC) 手動 10, 10, 15, 15, 15, 15, 15, 15, 15, 15, 15, 15
1-4-11-6	(TOF/DBS:手動、10、12、15、20秒、1、5、15分、ST:1、10、20秒、ブロックモード:1、2、3秒)
4 4 3 3 -	
1-4-11-7	リカバリーノート機能を有していること。
1 -	中央 データ ロー明 マール エク ホルナ 洪 ナー・
1-5	患者データに関して、以下の要件を満たすこと。
1-5-1	1分間隔で72時間の全ての患者データが保存可能なこと。
1-5-2	数値トレンドは、1、5、15, 30, 60分間隔切り替えで表示可能なこと。
1-5-3	数値トレンドのデータは、バイタル、IBP、ST、Temp/C.O.、Gasesなど5種類以上の分類でソートでき見やす
	く表示可能なこと。
1-5-4	グラフィックトレンドは8項目以上同時表示可能なこと。
1-5-5	トレンドグラフ、数値表を50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。
1-5-6	リアルタイム波形の横にショートトレンドを表示可能なこと。
1-5-7	不整脈、イベント、スナップショットの波形等のデータ保存は、モニタ本体内で400件以上保存可能なこと。
1-5-8	不整脈、スナップショットで保存される波形は1件あたり2波形以上保存可能なこと。
1-5-9	STリコールの保存は、モニタ本体内で10件以上保存可能なこと。
1-5-10	1分間隔で24時間の患者データは計測部(集合モジュール)にも保存可能なこと。
1-5-11	最新の36件以上の不整脈リコール波形及び10件のSTリコールは計測部(集合モジュール)に保存可能
1-3-11	なこと。
1-6	アラーム機能関して、以下の要件を満たすこと。
1-6-1	計測値、不整脈等の警報設定が可能なこと。

1-6-2	セントラルモニタで各計測値に対する警報設定が可能なこと。
1-6-3	警報音は優先度により4種類以上設定可能なこと。
	患者アラーム以外に、機械的あるいは電気的なトラブルに対応できるようにシステムアラームを装備してい
1-6-4	ること。
1_6_5	現在の計測値から自動的にアラーム値を設定する機能を有すること。
1-6-5	
1-6-6	アラーム発生時、自動記録が可能なこと。
1-6-7	アラーム中断中でも優先度の高いアラームが発生した場合、中断を解除しアラームが鳴る機能を有してい
1 0 /	ること。
1-6-8	アラーム状態が継続することで、自動的に優先度を上げる機能を有していること。
	運用において、各パラメータアラーム表示及び音声アラーム条件を変更するアラームショートカットキーを
1-6-9	有すること。
	有り ること。 夜間に患者の安眠を妨げないように、ベッドサイドモニタのディスプレイ表示及びベッドサイドモニタのみの
1-6-10	
	アラーム機能を停止することが可能なこと。
1-6-11	患者一時退出時のスタンバイ機能を有していること。
1-6-12	アラームー時停止機能を有していること。
1-7	記録機能に関して、以下の要件を満たすこと。
1-7-1	ベッドサイドでの記録操作により50mmレコーダ又はレーザープリンタに出力可能なこと。
1-7-2	患者情報の多様化に伴い50mmレコーダにて4波形以上の連続波形記録が可能なこと。
1-7-3	看護記録をサポートするために、トレンドグラフ記録、数値リスト記録、不整脈リコール波形記録が可能な
	<u></u>
1-7-4	心疾患の監視のため、標準12誘導心電図解析のレポート記録が可能なこと。
1-7-5	レコーダの記録速度は、1、5、10、12. 5、25、50mm∕secで切替え可能なこと。
1-7-6	同一のネットワーク上の任意の50mm幅のレコーダを記録先として設定できる機能を有すること。
	The state of the s
1-8	外部機器接続に関して、以下の要件を満たすこと。
1-8-1	外部機器を取込むインターフェースを接続可能なこと。
1-8-2	外部機器を取込むインターフェースはスペース性、拡張性を考慮し、計測部に追加せず、別のユニットであ
	ること。
1-8-3	1台の外部機器ユニットで5機種以上同時に接続可能なこと。
1 0 4	外部機器から取り込んだデータをモニタ上に、数値表示または波形表示し、トレンドグラフ、数値表へデー
1-8-4	タ表示が可能なこと。
	7 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
2	セントラルモニタシステム(リアルタイムビュワー)
2	セントラルモニタシステムは、以下の要件を満たしていること
	「ピンドノルピースンス」がは、以下の女件を測たしていること
1 0 1 1	14人のディフプレスで国味に早十11人の男子の心雷図及び計測値もまっ可能からし
2-1-1	1台のディスプレイで同時に最大11人の患者の心電図及び計測値を表示可能なこと。
2-1-2	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。
	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。
2-1-2 2-1-3	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、
2-1-2	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。
2-1-2 2-1-3	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。
$ \begin{array}{r} 2-1-2 \\ 2-1-3 \\ 2-1-4 \\ 2-1-5 \\ 2-1-6 \\ 2-1-7 \\ 2-1-8 \\ 2-1-9 \\ 2-1-10 \\ 2-1-11 \\ 2-1-12 \end{array} $	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。
$ \begin{array}{r} 2-1-2 \\ 2-1-3 \\ 2-1-4 \\ 2-1-5 \\ 2-1-6 \\ 2-1-7 \\ 2-1-8 \\ 2-1-9 \\ 2-1-10 \\ 2-1-11 \\ 2-1-12 \\ 2-1-13 \\ \end{array} $	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 プリントスクリーン機能があること。
$ \begin{array}{r} 2-1-2 \\ 2-1-3 \\ 2-1-4 \\ 2-1-5 \\ 2-1-6 \\ 2-1-7 \\ 2-1-8 \\ 2-1-9 \\ 2-1-10 \\ 2-1-11 \\ 2-1-12 \\ 2-1-13 \\ 2-1-14 \end{array} $	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 プリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。
$\begin{array}{c} 2-1-2 \\ 2-1-3 \\ 2-1-4 \\ \hline \\ 2-1-6 \\ 2-1-7 \\ 2-1-8 \\ \hline \\ 2-1-9 \\ \hline \\ 2-1-10 \\ \hline \\ 2-1-11 \\ \hline \\ 2-1-12 \\ \hline \\ 2-1-13 \\ \hline \\ 2-1-14 \\ \hline \\ 2-1-15 \\ \hline \end{array}$	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 プリントスクリーン機能があること。 1のプリントスクリーン機能があること。 自動ログアウト機能を設定可能であること。
$ \begin{array}{r} 2-1-2 \\ 2-1-3 \\ 2-1-4 \\ 2-1-5 \\ 2-1-6 \\ 2-1-7 \\ 2-1-8 \\ 2-1-9 \\ 2-1-10 \\ 2-1-11 \\ 2-1-12 \\ 2-1-13 \\ 2-1-14 \end{array} $	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 プリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 プリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 自動ログアウト機能を設定可能であること。 重型な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者パイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 ブリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 「パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 自動ログアウト機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 波形ファイリングシステム
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 ブリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 自動ログアウト機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 波形ファイリングシステム 波形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 ブリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 自動ログアウト機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 波形ファイリングシステム 波形ファイリングシステム 波形ファイリングシステム 波形ファイリングシステム 変形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 房内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 ブリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 自動ログアウト機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 www.paranamanamanamanamanamanamanamanamanaman
$ \begin{array}{r} 2-1-2 \\ 2-1-3 \\ 2-1-4 \\ 2-1-5 \\ 2-1-6 \\ 2-1-7 \\ 2-1-8 \\ 2-1-9 \\ 2-1-10 \\ 2-1-11 \\ 2-1-12 \\ 2-1-13 \\ 2-1-14 \\ 2-1-15 \\ 2-1-16 \\ 3 \\ 3-1-1 \\ 3-1-2 \\ 3-1-3 \\ 3-1-3 \end{array} $	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 房内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 グリントスクリーン機能があること。 プリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 フリントスクリーン機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 www.pdf、アラームを収集する機能を有すること。 正述アフィリングシステム にいること 手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。 心電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 房内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 ブリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 自動ログアウト機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 www.paralle.com/paralle.co
$ \begin{array}{r} 2-1-2 \\ 2-1-3 \\ 2-1-4 \\ 2-1-5 \\ 2-1-6 \\ 2-1-7 \\ 2-1-8 \\ 2-1-9 \\ 2-1-10 \\ 2-1-11 \\ 2-1-12 \\ 2-1-13 \\ 2-1-14 \\ 2-1-15 \\ 2-1-16 \\ 3 \\ 3-1-1 \\ 3-1-2 \\ 3-1-3 \\ 3-1-3 \end{array} $	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 がとアクリーン機能があること。 プリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 自動ログアウト機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 w形ファイリングシステム 波形ファイリングシステム 波形ファイリングシステム 波形ファイリングシステム 波形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。 心電図、観血血圧、Sp02など任意の6波形以上が表示可能なこと。 パイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 パイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 パイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 パイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4 3-1-5	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 グリントスクリーン機能があること。 アプリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 クスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 東軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 w形ファイリングシステム 波形ファイリングシステム 波形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。 心電図、観血血圧、Sp02など任意の6波形以上が表示可能なこと。 収集されたバイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 パイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有すること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 ブリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 自動ログアウト機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4 3-1-5 3-1-6	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者画面表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者パイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 第八数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 唐者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 裁べやPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 対したがはEXCELへ貼り付け可能なこと。 プリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 コリントスクリーン機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 変形ファイリングシステム 波形ファイリングシステム ないたのでのWeb参照が可能なこと。 小電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 小電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 収集されたパイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 収集されたパイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 「バイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有すること。 生体情報モニタのパイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのパイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのパイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4 3-1-5	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者パイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 諸 「大会の上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 「表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEKCELへ貼り付け可能なこと。 対加トレンドはEKCELへ貼り付け可能なこと。 対プリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 フリントスクリーン機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 「変形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 手術中の各手術室のバイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 収集されたパイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 収集されたパイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 パイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有すること。 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4 3-1-5 3-1-6 3-1-7	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 裁心やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 グリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 イスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 変形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。 心電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 収集されたバイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 パイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有すること。 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること イベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。アラームイベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4 3-1-5 3-1-6	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 裁心やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 グリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 イスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 「パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 変形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。 心電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 収集されたバイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 パイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有すること。 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること と体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること。 イベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。アラームイベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4 3-1-5 3-1-6 3-1-7 3-1-8	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 疹内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 裁称やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 グリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 「パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 「パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 変形ファイリングシステム 実形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 素軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 変形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 実称ない、類面血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 小電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 バイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有すること。 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体十二タでアラームが発生した場合、その際の波形情報にアラームイベントを取り込めること。アラームイベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4 3-1-5 3-1-6 3-1-7	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 院内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 紙やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 グリントスクリーン機能があること。 プリントスクリーン機能があること。 プリントスクリーン機能があること。 「バスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 プリントスクリーン機能を設定可能であること。 柔軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 変形ファイリングシステム 波形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 手術中の各手術室のバイタルサイン情報の波形、数値、アラームを収集する機能を有すること。 心電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 収集されたバイタルサイン情報は、外部媒体へ保存が可能なこと。 「バイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有すること。 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体モニタでアラームが発生した場合、その際の波形情報にアラームイベントを取り込めること。アラームイベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。 、バッドサイドモニタから実波形情報を取得できること。入室中の実波形保存期間は、最大1ヶ月間保存できること。 波形ファイリングシステムは、導入後のメンテナンス期間も考慮し、新品ハードウェアと最新ソフトウェア
2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-1-5 2-1-6 2-1-7 2-1-8 2-1-9 2-1-10 2-1-11 2-1-12 2-1-13 2-1-14 2-1-15 2-1-16 3 3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-4 3-1-5 3-1-6 3-1-7 3-1-8	全患者表示画面において、画面の縦方向の分割数と横方向の分割数の変更が可能なこと。 モニタリング人数に応じて2、3、4、5、6、7、8、10、12、14、16人画面に変更可能なこと。 全患者表示画面において、心電図波形以外に、血圧波形、脈波形、呼吸波形、CO2波形等から選択し、 1患者あたり4波形以上を全患者同時表示可能なこと。 アラームが発生した際、全患者画面の中の該当患者の表示が強調されること。 生体情報モニタの患者バイタル情報が取得可能であること。 多人数表示(4人、8人、12人、16人)ができること。 疹内上位システムより時刻情報を取得し、時刻同期が可能なこと 患者属性情報については、日本語および英語の表記が可能で文字の大きさや色、フォントを自由に選択できること。 表示させる波形、数値、表示色は任意に設定が可能であること。 裁称やPDF等の電子フォーマットでの印刷が可能なこと。 数値トレンドはEXCELへ貼り付け可能なこと。 グリントスクリーン機能があること。 パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 「パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 「パスワードによるアクセス制御が設定可能なこと。 変形ファイリングシステム 実形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 素軟な臨床運用を可能にするため、院内でのWeb参照が可能なこと。 変形ファイリングシステムは、以下の要件を満たしていること 実称ない、類面血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 小電図、観血血圧、SpO2など任意の6波形以上が表示可能なこと。 バイタルサイン情報のデジタルリストから任意の時間を選択し必要な波形情報を表示させる機能を有すること。 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体情報モニタのバイタル(数値情報)を最低限1分間隔で取得できること 生体十二タでアラームが発生した場合、その際の波形情報にアラームイベントを取り込めること。アラームイベントの検索機能によりアラーム発生の波形を容易に把握できる仕組みであること。

(性能、機能以外に関する要件)		
【(4)その他、性能、機能以外については以下の要件を満たすこと。		
1		
1-1	その他、性能、機能以外に関する要件	
1-1-1	設置場所については、本院の職員の指示によること。	
1-1-2	機器の搬入、据付、配線、配管、調整等については、本院の診療業務に支障をきたさないよう本院の職員の指示により行うこと。	
1-1-3	設置工事は、納期、工事期間のスケジュールを事前に打ち合わせをし、そのスケジュールに従い、完了すること。	
1-1-4	納入検査確認後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。	
1-1-5	モニタの不具合があった場合、24時間365日電話対応が可能で、必要に応じて現場対応すること。	
1-1-6	モニタ導入前、導入後に使用方法の講習会を行うこと(日数は本院職員の指示により対応すること)。	
1-1-7	修理が必要な場合は、業務に支障が出ないように代替え機を準備すること	
1-1-8	各装置の操作マニュアルは,日本語で提出すること。	
1-1-9	電子カルテシステムとの連携及びその費用を含んでいること。	